

西栗倉村防災ガイドブック改訂及び12地区ハザードマップ作成業務仕様書

1. 業務委託名

令和8年度 西栗倉村防災ガイドブック改訂及び12地区ハザードマップ作成業務

2. 業務の目的

本業務は、現行の「西栗倉村防災ガイドブック」を改訂及び地区ごとのハザードマップを作成し、自然災害に関する最新の防災情報や避難行動を網羅した内容を提供することで、平常時から村民の防災意識を広く向上させるとともに、災害時の減災対策として活用することが目的。

3. 業務対象区域

西栗倉村内全域

4. 履行期間

契約締結日から令和9年2月26日（金）

5. 作業要件

全国の地方公共団体において、土砂災害及び水害ハザードマップの作成業務を委託された実績があること。ただし、印刷業務のみの実績は対象外とする。

6. 準拠する法規等

本業務を実施するに当たっては、本仕様書によるほか、以下の関係法令等に準拠する。

- (1) 災害対策基本法
- (2) 水防法
- (3) 河川法
- (4) 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律
- (5) 岡山県地域防災計画
- (6) 西栗倉村地域防災計画
- (7) 土砂災害ハザードマップ作成ガイドライン（令和2年10月 国土交通省）
- (8) 水害ハザードマップ作成の手引き（令和8年5月 国土交通省）
- (9) 避難情報に関するガイドライン（令和8年3月内閣府）
- (10) その他関係法令及び規則等

7. 提出書類

受託者は、業務着手時及び完了後速やかに次の書類を提出するものとする。

- (1) 業務着手届
- (2) 工程表
- (3) 業務完了通知書

8. 成果品

本業務の成果品は以下のとおりとする。

- (1) 電子データ式 (DVD-R 等の電子媒体)
 - ・ PDF データ
 - ・ 作成用元データ式

9. 仕様

(1) 防災ガイドブック

サイズ	A 4 サイズ (見開き A 3 横型サイズ)
頁数	80 頁程度
縮尺	1/2, 500 程度 (エリア別ページ) 1/10, 000 ~ 1/15, 000 程度より大きい縮尺とする (全村図)
色	フルカラー

(2) 12 地区ハザードマップ

概要	12 地区に分けたハザードマップ (大茅、坂根、猪之部、谷口、塩谷、影石、別府、引谷、中土居、下土居、筏津、知社)
サイズ	A 1 サイズ
縮尺	1/10, 000 ~ 1/15, 000 程度より大きい縮尺とする
色	フルカラー

10 作業内容

西粟倉村防災ガイドブックの改訂業務にあたっては、上記 6. 準拠する法規等を参照すること。参照した結果、仕様書に記載がない事項については、適切な提案を行い、西粟倉村および受託者との協議の上で作成を進めること。

(1) 打ち合わせ・協議

(2) 西粟倉村防災ガイドブック改訂及び 12 地区ハザードマップ作業内容

①西栗倉村防災ガイドブック

頁数	タイトル	改訂 区分	内容
1	表紙	変更	改訂したことが分かるデザインに変更する。
2	導入	なし	
3	目次	変更	改訂内容により変更する。
4～5	01災害から学ぶ 「西栗倉村を知っ て、備える」	削除	県道72号、県道357号のアイコンを削除。
		変更	(1) 令和5年8月台風7号法面崩落(村道筏 津知社線)を追加する。 (2) 過去に浸水した箇所を追加する。
6	01災害から学ぶ 「避難の判断と流	変更	令和8年5月29日に改正された「防災気象情報」 に変更する。
7	れ」	変更	情報伝達の流れに公式LINEを追加する。
8～9	02災害を知る「大 雨・土砂災害」	変更	最新の防災情報に留意して適宜修正する。修正 箇所がなければ変更を行わない。
10～ 11	02災害を知る「台 風・洪水」	変更	浸水想定区域が指定になったことを説明 最新の防災情報に留意して適宜修正する。修正 箇所がなければ変更を行わない。
12～ 13	02災害を知る「地 震・火災」	変更	最新の防災情報に留意して適宜修正する。修正 箇所がなければ変更を行わない。
14～ 15	03知っておきたい 防災情報「避難す る際のポイントと は?・土砂災害か ら身を守る」	変更	最新の防災情報に留意して適宜修正する。修正 箇所がなければ変更を行わない。
16～ 17	03知っておきたい 防災情報「避難所 でのルールとマナ ー・要支援者への 理解と思いやり」	変更	最新の防災情報に留意して適宜修正する。修正 箇所がなければ変更を行わない。
18～ 19	03知っておきたい 防災情報「みんな で備える防犯対	変更	最新の防災情報に留意して適宜修正する。修正 箇所がなければ変更を行わない。

	策・考えたいみんなのコト」		
20～ 21	04ハザードマップ 「ハザードマップ の使い方」	変更	・洪水浸水想定区域の説明を追加する。 ・Wエリアを追加する。
22～ 23	全村図	新規	白地図上に以下の内容を掲載する ・土砂災害警戒区域 ・土砂災害特別警戒区域 ・洪水浸水区域計画規模（L1）の浸水深を色分けして追加 ・上記の内容を説明するアイコン等
24～ 25	全村図	新規	白地図上に以下の内容を掲載する ・土砂災害警戒区域 ・土砂災害特別警戒区域 ・洪水浸水区域図想定最大規模（L2）の浸水深を色分けして追加 ・上記の内容を説明するアイコン等
26～ 73	マップ（Aエリア～ Xエリア）	変更	各マップに以下を追加する。 ・洪水浸水区域計画規模（L1）の浸水深を色分けして追加 ・上記の内容を説明するアイコン等 ・地図に河川カメラの位置を記載（QRコード） ・要配慮者利用施設の場所を地図上に図示する
74～ 75	避難所・要配慮者 利用施設	新規	・避難所の一覧表を記載（記載項目：施設名、住所、連絡先、避難所の種類） ・要配慮者利用施設の一覧表を記載
76～ 77	05その他情報「家 族と話そう！日頃 からの備えと確認 事項」	変更	最新の防災情報に留意して適宜修正する。修正箇所がなければ変更を行わない。
78～ 79	05その他情報「事 前・災害時の情報 収集」	変更 削除	・西粟倉村公式ライン追加する ・Facebookを削除する ・災害用音声お届けサービスを削除する（2022年3月末終了したため）
80	裏表紙	変更	表紙のデザインに合わせて変更する。

②12 地区ハザードマップ

12 地区（大茅、坂根、猪之部、谷口、塩谷、影石、別府、引谷、中土居、下土居、筏津、知社）に分けたハザードマップを作成する。掲載情報については以下のとおりとする。

- ・防災ガイドブックのエリアマップに掲載された情報
- ・土砂災害警戒区域及び洪水浸水区域の説明
- ・岡山県統合型 GIS の QR コード
- ・その他（発注者と協議を行い、必要と認めた内容）

（3）校正

2回以上を行うものとする。

（4）成果品の納入

- ・ PDF データ
- ・ 作成用元データ一式

11 貸与資料

- （1）西栗倉村防災ガイドブックデータ
- （2）浸水想定区域データ
- （3）土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域データ
- （4）白地図データ（shape 形式）
- （5）その他協議の上、必要と判断されたもの

12 成果品の納入

受託者は、以下のとおり本村が指定するそれぞれの場所へ納入すること。

（1）納入場所

岡山県英田郡西栗倉村大字影石 33 番地 1 総務企画課

（2）納入方法及び注意事項

DVD-R 等の電子媒体（容量に応じて複数枚に分割可）に格納し、事前にウイルスチェックを実施した上で納品すること。

13 担当課

総務企画課

14 その他

- (1) 本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合には、委託者と協議の上決定するものとする。
- (2) 村からの貸与資料の取扱いについては、漏洩、汚損、破損のないよう細心の注意を払うこととし、業務終了後に速やかに返却すること。